

図6 鳥唄3パート版[A]の部分



(3) フレーズとフレーズを重ねる

[A]の5小節目のところですが、コードにEpedalと書きました。これはメロディでどんな音が出てきても、ベースラインで「E」の音を持続させる、ということです。ここは原曲では三弦が演奏するメロディですが、そのままボーカルで歌うには音域が跳びすぎているので、原曲のイメージを残しつつ、歌いやすいように音型を変えました。図7が、その変更後の基本的なメロディです。[A]5小節目で、このメロディが、コーラスからリードに受け渡されます。

図7 「鳥唄」三弦のフレーズを歌いやすく手を加えて、



このようなフレーズの受け渡しは、図8 - a のようにするよりも、図8 - bのように、前後の音も加えて、お互いが独立したフレーズを歌いながらも、原曲のフレーズが浮き上がってくる、という方法で書いた方が、音楽的になります。わかりやすいように、スラーを付けて、フレーズとフレーズの切れ目をハッキリさせてみました。こんな風に、あるフレーズの途中から他のフレーズが始まる、という風に重ねる方法は、音楽的な進行がすごくなめらかな感じになります。

図8 - a

フレーズとフレーズが繋がっていない



図8 - b

こんな風にフレーズとフレーズを重ねると、音楽がスムーズになります！



こんなことを参考にしながら、コードから伴奏を起こして、そこにメロディを加えると、多分、皆さんが思っているより簡単にアレンジが出来るんです。是非是非トライしてみてください！

[鳥唄 メロ譜はこちら](#)

[鳥唄 二人版ハモリ譜はこちら](#)

[鳥唄 三人版ハモリ譜はこちら](#)

[目次のページに戻る](#)

@ELISEとは

@ELISEアットエリーゼについて

掲載されている著作物の全部または一部を、権利者に無断で複製または転載し、頒布し、他に送信することは、著作権の侵害に当たり、著作権法により罰せられます。当サイトにリンクを貼る場合は事務局までご連絡下さい。Netscape Navigator 6.2以上、Internet Explorer 5.5(sp2)以上のブラウザでご覧下さい。

Copyright (C) 2001-2007 Japan Music Works,Ltd. All Rights Reserved.

Never reproduce or republicate without written permission.

[株式会社ジャパン・ミュージックワークス](#)(2005年11月1日より、社名を変更致しました)

東京都品川区東五反田1-19-10 コアビル6F

電話：03-5475-6966(10:30～18:00 土日祝休業) [お問い合わせ](#)